

## 【外部バックアップ】データベースデータインポート方法

1. 本文書の説明	2
2. 用語	2
3. 外部バックアップアカウントの設定	3
ご注意	5
4. 外部バックアップサーバへの接続	5
5. バックアップデータを PC へダウンロード	6
6. データベースの再作成	7
7. データベースバックアップデータのインポート	8

## 1. 本文書の説明

本文書では、【外部バックアップ】オプションにより 3 日に一度取得しているバックアップデータのデータベースのインポート手順を説明しています。

### ご注意

本文書の作業を進めるにあたり、以下の条件が揃っていることをご確認願います。

- サーバのご契約があること。
- 外部バックアップオプションのご契約があること。
- 外部バックアップサーバへの FTP アカウントが作成されていること。

## 2. 用語

- 外部バックアップ
  - サーバのデータ(メール、ウェブ、データベース)を 3 日に一度最大 3 世代までバックアップを取得するオプション。
- 外部バックアップサーバへの FTP アカウント
  - 外部バックアップサーバのデータをダウンロードするための FTP アカウント
  - サーバのコントロールパネルから作成可能です。
  - 専用サーバの場合は、外部バックアップは、主契約ドメインと、全てのバーチャルドメインデータをバックアップしています。
  - 共用サーバの場合は、外部バックアップは、主契約ドメインのみ取得しています。
- データベース
  - サーバプランによってバージョンは異なりますが、データベースを用意しております。
- インポート
  - 外部バックアップによるバックアップデータをサーバにコピーしてバックアップ取得時点のデータの状態に戻す作業です。



### 3. 外部バックアップアカウントの設定

外部バックアップサーバへ接続するFTPアカウントを作成します。

コントロールパネルにログインします。

コントロールパネルの【制作ツール】から、【外部バックアップサービス】を選択し、【外部バックアップアカウントの設定】をクリックします。

へアクセスします。

 <p><b>外部バックアップアカウントの設定</b></p> <p>外部バックアップサーバにアクセスするための新しいFTPアカウントを追加します。</p>	 <p><b>外部バックアップ接続制限の設定</b></p> <p>外部バックアップサーバに対してアクセスできるIPアドレスを制限します。</p>
---	--

【FTPアカウント新規作成】ボタンをクリックします。

## FTPアカウントの設定

[このページのヘルプ](#)

設定可能なFTPアカウント数は1です。  
現在の設定状況は、以下の通りです：

- ・設定サーバー名: ████████.secure.ne.jp
- ・FTPアカウント名: 未設定

**▶ FTPアカウント新規作成**

FTPアカウントを設定します。

## FTPアカウントの設定

[このページのヘルプ](#)

FTPアカウントの新規追加

FTPアカウント	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
<input type="button" value="新規追加"/>	

・すべての項目を半角英数字で設定してください。

・なお、下記のアカウント名は禁止されていますのでご注意ください。

[ root nobody access account backup user test および ftp0~ftp9 ]

【外部バックアップ】データベースデータインポート方法

FTP アカウント	FTP アカウントはコントロールパネルのユーザーID です。 ◆注意◆ FTP アカウントは固定です。変更できません。
パスワード	設定したいパスワードを入力します。 ◆注意◆ 文字数制限 : 8~16 文字 使用可能文字 : 半角英数、ハイフン (-) アンダースコア (_)、ピリオド (.) ※先頭・末尾に記号は使用できません。 必ず数字一文字とアルファベット一文字を含めてください。FTP アカウント名と同じパスワードは設定できません。
パスワード (再入力)	パスワードに入力したものと同一内容を入力します。

アカウントが追加されると【FTP アカウント [\*\*\*\*] の新規追加を完了しました。】と表示されます。

### FTPアカウントの設定 ▶ このページのヘルプ

設定可能なFTPアカウント数は1です。  
現在の設定状況は、以下の通りです：

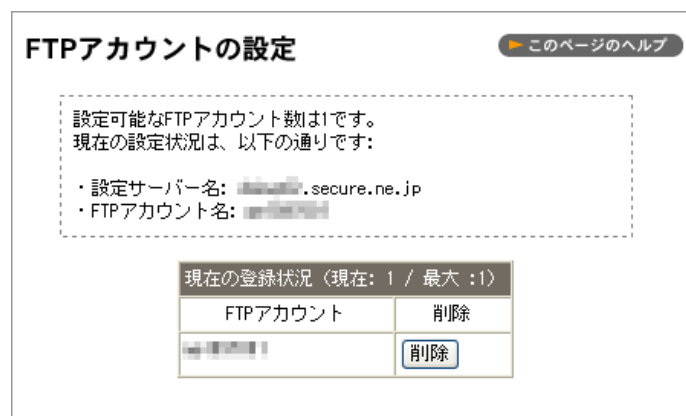
- ・ 設定サーバー名: \*\*\*\*.secure.ne.jp
- ・ FTPアカウント名: \*\*\*\*

FTPアカウント[ \*\*\*\* ]の新規追加を完了しました。

アカウントの最大制限数に達しました

現在の登録状況 (現在: 1 / 最大 :1)	
FTPアカウント	削除
****	<input type="button" value="削除"/>

【FTP アカウントの設定】画面に移動すると、FTP アカウントが確認できます。



### ご注意

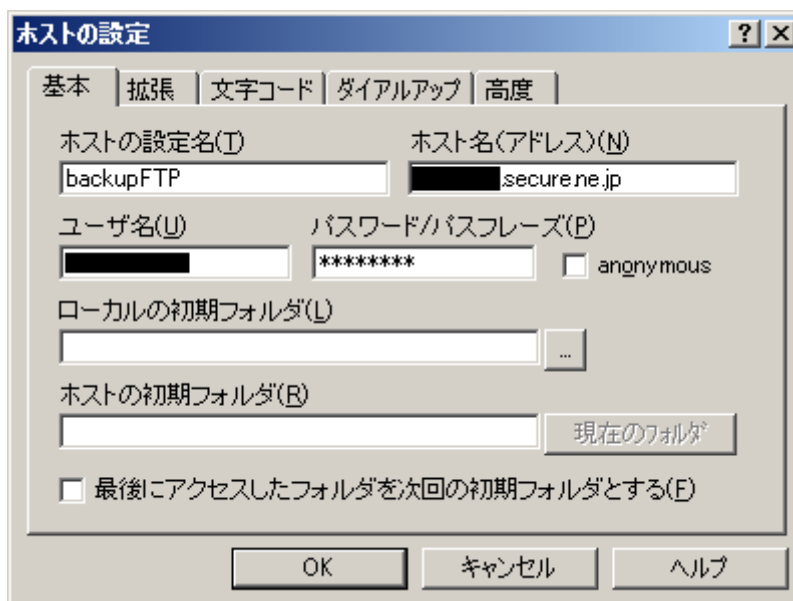
現在、コントロールパネルからのバックアップアカウントの設定などの機能がご利用いただけません。バックアップアカウントの設定、接続先の制限に関してはお手数ではございますが support@cpj.ad.jp 宛てにメールにてお問い合わせ願います。

## 4. 外部バックアップサーバへの接続

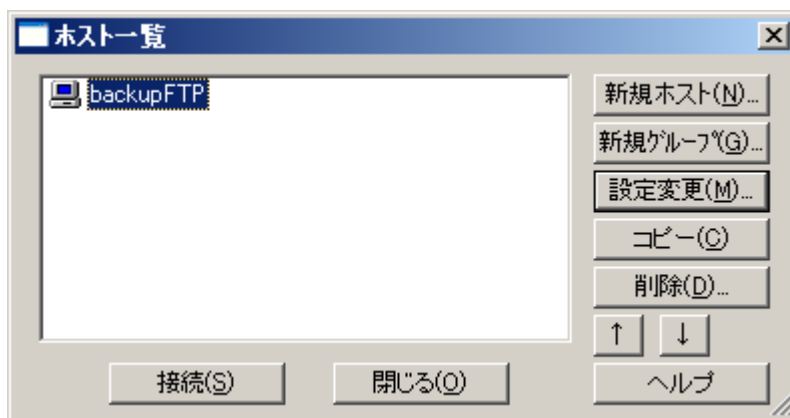
FTPクライアントソフトを利用して外部バックアップサーバへ接続します。

(例では FFFTP を利用しての説明を記載します)

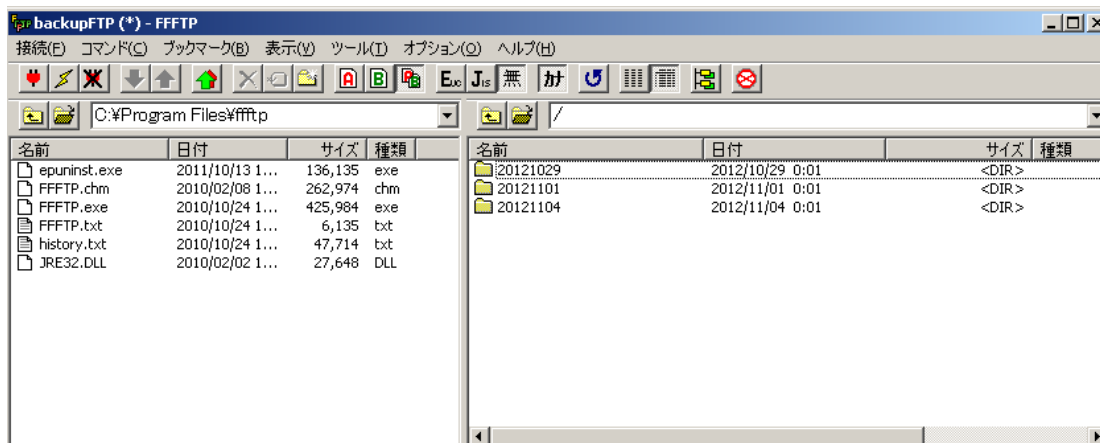
接続先の設定



外部バックアップサーバへ接続



### バックアップデータの確認



### 5. バックアップデータを PC へダウンロード

バックアップデータは以下のディレクトリ構成で保管されています。

/ルートディレクトリ

日付 (YYYYMMDD) / : 1 世代目

db/  
mail/  
web/

日付 (YYYYMMDD) / : 2 世代目

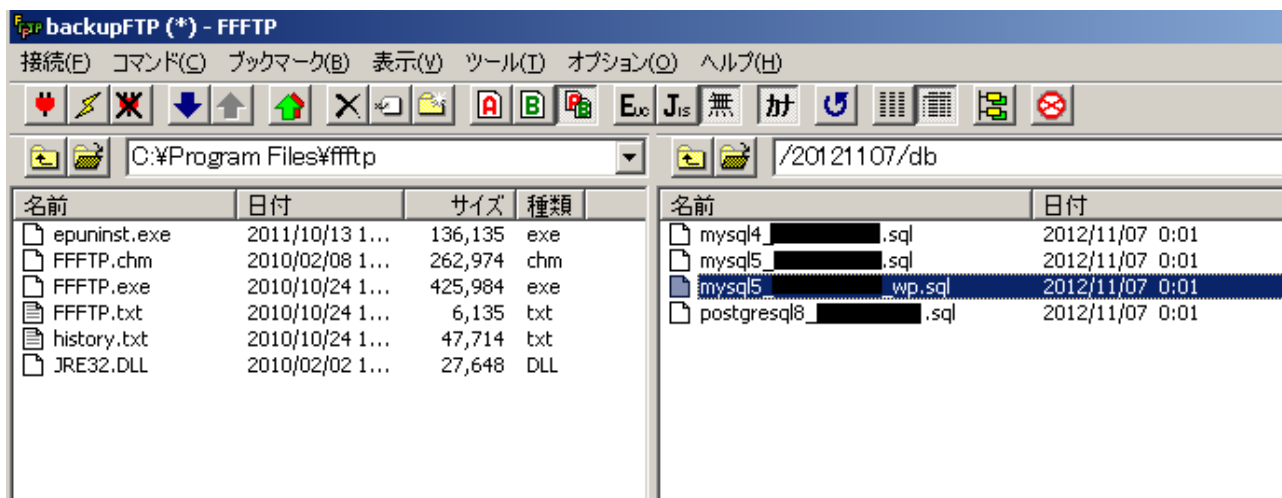
db/  
mail/  
web/

日付 (YYYYMMDD) / : 3 世代目

db/  
mail/

web/

例：2012年11月7日のデータベースのバックアップデータをダウンロードする場合。



FTP ソフトで /ルートディレクトリ/20121107/db/ にアクセスします。

mysql4\_ユーザ ID. sql

mysql5\_ユーザ ID. sql

postgresql8\_ユーザ ID. sql

のファイル名でデータベースのデータが保管されています。

1 データベース、1 バックアップファイルとなります。

これらのファイルを PC へダウンロードします。

## 6. データベースの再作成

データベースのデータをインポートする前に、一度データベースを空にしてから、バックアップデータをインポートします。

その為、コントロールパネルでデータベースを再作成します。





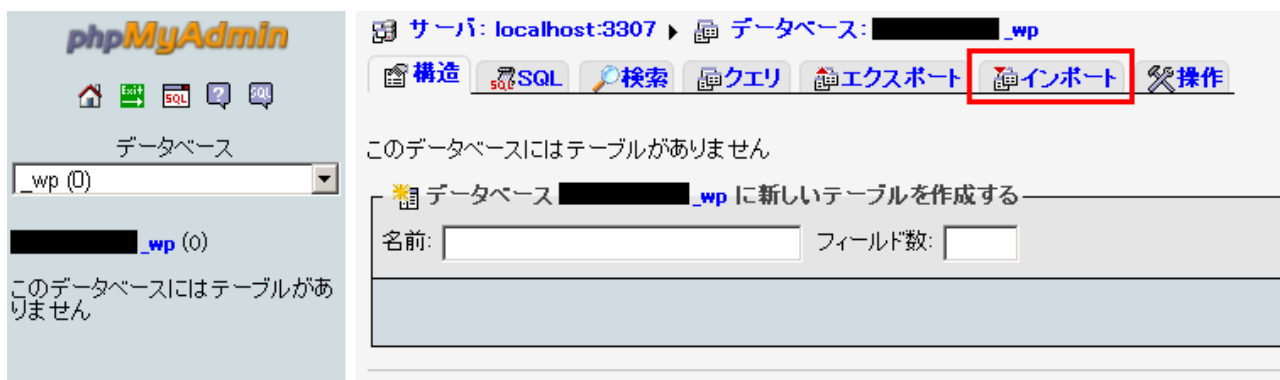
## 【外部バックアップ】データベースデータインポート方法

MySQL5.0 管理画面 (phpMyAdmin) にログインします。

データベース名 : ユーザ ID\_wp (下記画像赤枠の箇所) をマウスでクリックします。



データベース名 : ユーザ ID\_wp の詳細画面に進むので、【インポート】をマウスでクリックします。



データベース名 : ユーザ ID\_wp のインポート画面に進みます。

## 【外部バックアップ】データベースデータインポート方法

サーバ: localhost:3307 ▶ データベース: ████████\_wp

構造 SQL 検索 クエリ エクスポート インポート 操作

### インポート

インポートするファイル

テキストファイルの位置 **ファイルを選択** 選択されていません (最長: 102 kKiB)

ファイルの文字セット: **utf8**

インポートしたファイルの圧縮方法は次の中から自動検出されます: なし, gzip, bzip2, zip

部分インポート

制限時間が近くなったときにスクリプト側でインポートを中断できるようにします。大きなファイルをインポートする場合には便利ですが、トランザクションが壊れることもあります

先頭から数えたスキップするレコード(クエリ)の数

インポートするファイルの形式

SQL

オプション

SQL互換モード

non  EUC  SJIS エンコーディングへ変換する

全角カナへ変換する

**実行する**

【ファイルを選択】のボタンをクリックし、データベースのバックアップファイルである mysql5\_ユーザ ID\_wp.sql のファイルを選択します。

ファイルの文字セットは utf8 にします。この箇所は実際に作成されたデータベースの文字コードに併せてください。

そのほかの部分は変更なく、画面右下の【実行する】ボタンをクリックするとインポート処理が開始されます。

インポートが終了すると以下ようになります。

## 【外部バックアップ】データベースデータインポート方法

サーバ: localhost:3307 ▶ データベース: **\_wp**

構造 SQL 検索 クエリ エクスポート インポート 操作

インポートは正常終了しました。127 個のクエリを実行しました

### インポート

インポートするファイル

テキストファイルの位置  選択されていません (最長: 102 kKiB)

ファイルの文字セット:

インポートしたファイルの圧縮方法は次の中から自動検出されます: なし, gzip, bzip2, zip

部分インポート

制限時間が近くなったときにスクリプト側でインポートを中断できるようにします。大きなファイルをインポートする場合には便利ですが、トランザクションが壊れることもあります

先頭から数えたスキップするレコード(クエリ)の数

インポートするファイルの形式

SQL

オプション

SQL互換モード

non  EUC  SJIS エンコーディングへ変換する

全角カナへ変換する

画面左側に wordpress のデータを格納するテーブルが作成されているのが確認できます。  
(wp\_ から始まるテーブルが作成されています)

外部バックアップのデータベースデータのインポートは以上で完了です。